

埼玉県 M injikyō D ayori

民児協だより

Your smile makes everyone happy



金錯銘鉄剣

写真/稲荷山古墳 (丸墓山古墳から) (撮影: 県民児協広報部会)
金錯銘鉄剣 (提供: 埼玉県立さきたま史跡の博物館)

目次

- 2p~3p 令和5年度「事業計画及び収支予算」
- 4p~5p 新体制のもと4部会が始動
- 6p 令和5年度「民生委員・児童委員の日活動強化週間」活動報告
- 7p 令和4年一斉改選の状況報告
- 8p~9p コロナ後の民生委員・児童委員活動のあり方
- 10p~11p 令和4年度「事業報告及び決算」
- 12p 埼玉県の国宝紹介 (稲荷山古墳出土品)、ゼリーフライ、主な予定、編集後記



県民児協
ホームページも
ご活用ください!



》》 <https://www.saitama-minjikyō.or.jp>

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。

令和5年度「事業計画及び収支予算」

3月に開催された第178回理事会および第167回評議員会において、令和5年度の事業計画と収支予算が承認されました。

I. 運営方針

- (1) 公益活動の推進
- (2) 市町村民児協との連携強化及び財政の確立
- (3) 民生委員・児童委員への支援と活動を資するための研修強化
- (4) 埼玉県及び埼玉県社協と連携のもとに、新たな組織構成に基づく会務の運営と事業の推進
- (5) 「100周年活動強化方策」及び「全国児童委員活動強化推進方策2017」の一体的な取り組みの推進

II. 重点目標

- (1) 4部会による民生委員活動の充実発展と強化推進
今年度のテーマ
「全民生委員・児童委員に情報を伝える」
- (2) ポストコロナ社会における活動環境整備
- (3) 市町村民児協組織の整備を

推進

- (4) 生活福祉資金借受世帯の相談援助活動を推進
- (5) 「100周年活動強化方策」に基づく取り組みの推進
- (6) 民生委員・児童委員による災害時要援護者支援活動の強化・充実
- (7) 民生委員・児童委員の適切な人材確保に向けた環境整備

III. 実施事業（概要）

1 活動事業

① 部会事業

全ての民生委員・児童委員、主任児童委員に対して活動に必要な研修を届けるために情報収集および体制整備を行う

② 地区民児協支援部会

民生委員・児童委員活動が円滑に行えるよう、毎年度にテーマを考察し、テーマ毎に協議し、活動の

参考にしてもらえるよう取り組む
テーマ「欠員の現状と改善の考察」

③ 広報部会

委員活動の一助となるよう適切な情報提供をするとともに、民生委員・児童委員のPR活動を行う
ア 活動ハンドブックの活用による全ての委員への支援

イ 埼玉県民児協だよりの発行

ウ PR活動

・ラジオ放送

・広報誌掲載

エ ホームページの情報整理

④ 主任児童委員部会

4つの課題に応じた分科会において、支援体制の充実および関係機関との連携強化に向けた取り組みを行う

ア 主任児童委員認知度アップ

・主任児童委員活動ハンドブックの活用

・新たな取り組みの企画

イ 不登校児童

・支援体制の整備と関係機関との連携体制の強化

・市町村をまたいだ情報共有

ウ 児童虐待

・支援体制の整備と関係機関との連携体制の強化

・問題の発生を未然に防ぐ体制づくり

エ 貧困・ヤングケアラー

・ヤングケアラー問題の実態について、県内の主任児童委員に対する情報発信

・行政および関係機関との支援体制の構築

エ 貧困・ヤングケアラー

・ヤングケアラー問題の実態について、県内の主任児童委員に対する情報発信

・行政および関係機関との支援体制の構築

② 埼玉県民生委員・児童委員大会開催事業

開催日 9月5日

会場 埼玉会館・大ホール

民児協代表者及び関係者の参集を得て、当面の活動方針を樹立するとともに、県知事功労章、県民児協会長表彰を実施し、より一層の

団結と連帯及び士気の高揚を図る

団結と連帯及び士気の高揚を図る

また、4部会による事例発表を行い、全民生委員・児童委員に情報を伝える

2 育成・指導事業

(1) リーダー研修事業

ア 全国指導者研修会（全国民生委員大学）

イ 民生委員・児童委員リーダー研修会

ウ 全国児童委員・主任児童委員活動研修会

エ 理事・監事及び評議員県外視察研修

(2) 地区別協議事業

開催当番市

(東部) 久喜市民児協

(西部) 飯能市民児協

(南部) 戸田市民児協

(北部) 秩父市民児協

(3) 民児協育成事業

ア 第26期指定民児協1年目の助成と援助

イ 活動に資する研修DVD、動画配信

ウ 市町村民児協からの要請に基づき講師派遣

3 調査研究事業

(1) 調査事業

ア 民児協組織の運営や構成委員の現状把握のための調査

イ 個別管理基礎調査票及び全委員名簿の管理

ウ 民生委員・児童委員の日取り組み調査

(2) 研究協議事業

ア 都道府県・指定都市民児協事務局会議

イ 民生児童委員・保護司連絡会

(3) 大会事業

①参加事業

ア 埼玉県社会福祉大会

イ 大会への参加

・全国民生委員児童委員大会（広島県）

・関東ブロック民生委員児童委員

員研究協議会

・関東ブロック内の都県・指定都市民生委員大会

②表彰事業

ア 叙勲・褒章

イ 厚生労働大臣表彰

ウ 全国社会福祉協議会会長表彰

エ 全国民生委員児童委員連合会会長表彰

4 福祉相談推進事業

生活福祉資金貸付制度推進事業

ア 制度説明会

イ 実費弁償費の交付

5 共同募金事業協力事業

(1) 民生委員・児童委員及び市

町村民児協へ協力依頼

(2) 広報誌による普及・啓発

(3) 各会議にてチラシ配布

IV 互助事業

1 全国民生委員互助事業

2 埼玉県民生委員弔慰事業

V 法人運営

1 正副会長会議

2 理事会

3 評議員会

4 監事会

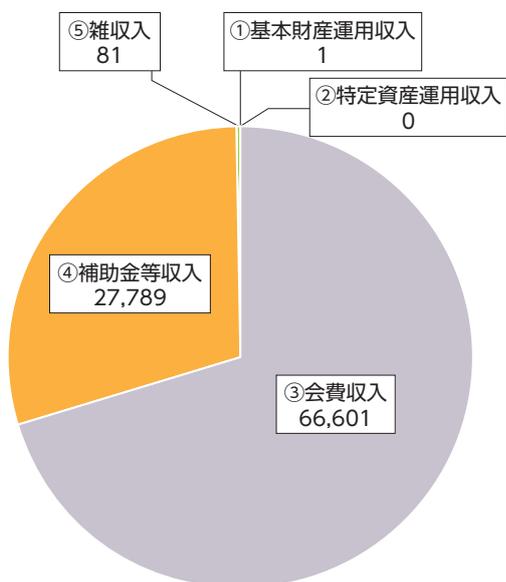
5 総務特別委員会

6 市町村民児協事務担当者連絡会議

7 資料の斡旋、配布

収入の部

合計 94,472千円

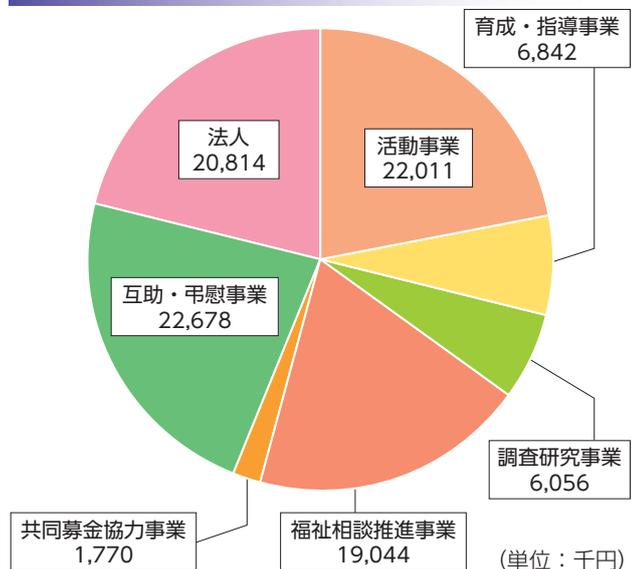


※「特定資産運用収入」は、埼玉県民生委員互助事業の廃止に伴いなくなりました。

公的ボランティアの民生委員・児童委員の会費で活動しています。(単位：千円)

支出の部

合計 99,215千円



※詳細につきましてはホームページをご覧ください。

4部会が始動

の4部会においても新体制になりました。



部会長 芦澤吉一

民生委員・児童委員 活動の充実に向けて

住民の立場に立ち、住民の身近な相談・支援者としての、区域担当民生委員・児童委員の活動の充実及び単位民児協などでの組織的な活動展開を図り、個々の民生委員・児童委員への支援と日々の活動に資するための研修の強化推進を図っていきます。

● 埼玉県民児協主催の研修

今後、任期3年間において、全ての民生委員・児童委員、主任児童委員に対して研修が行き届く環境整備を行うこととしました。

より多くの委員の需要に則した研修が実現されるために、研修の需要を研修部会員の所属する市町村から吸い上げ、挙がった幅広い課題についてどういった対応をとるか検討していくこととしました。併せて、「ポトムアップ」を

奨励する100周年活動強化方策の有識者を招き、改めて進め方や体制整備について研修を実施することとしました。地域版活動強化方策の研修実施について

日時 6月23日(金)10時～12時

内容 会長の役割、必要な視点等

● 埼玉県社協と共催による研修

(1) 集合型(対面・リモート) 会長、副会長向けの研修 日時8月25日(金)

(2) DVD貸出型 全階層、新任委員、主任児童委員の対象別の研修

貸出期間 9月初旬～3月末日

(3) 限定YouTube型 福祉課題別の研修

配信期間 9月初旬～3月末日

● 今後の展望

地域によって抱える課題や実情が異なります。

単位民児協版活動強化方策を作成することで、地区の実情にあった活動がより明確になり、単位民児協としての取り組む活動の見通しが立ちやすくなります。



部会長 藤崎昇

年度ごとの課題を 設定考察する

地区民児協支援部会は1月31日に最初の会議を開催しました。部会員18名中2名欠席でしたが、自己紹介で和やかな雰囲気の中、会議を進めました。

地区民児協支援部会の目的である、「県内各地区民児協組織の効果的な活動を支援すること」を踏まえ部会員との活発な討議が行われました。

● 三つの課題を設定・考察！

現在、県内各地区民児協で抱えている問題は民生委員・児童委員『欠員』に関することでした。特に昨年の一斉改選時、埼玉県内で762名の民生委員・児童委員の欠員で(12月1日現

在)各地区民児協が抱える大きな課題となっています。この課題の解決方策を考察することは喫緊の課題と言えることから、令和5年度は課題①『欠員の現状と改善の考察』をテーマとして進めることを決定しました。

令和6年度は課題②『生活支援整備について考察』令和7年度は民生委員制度100周年の際に提唱された、『地域版活動強化方策』についての考察(課題③)と三つの課題を3年かけて考察することとしました。

埼玉県内62市町村民児協の皆様と、実情に応じた情報交換を活発に行い信頼関係を築いていきたいと思えます。

よろしくお願いいたします。



新体制のもと

令和4年12月の一斉改選により県民児協本格的な活動がスタートしています。



部会長 志子田 健一

情報発信を担って

●広報部会の役割

広報部会の役割は、埼玉県民児協の会員に民生委員・児童委員活動に必要な情報を提供することと、埼玉県民児協に関する情報を外部の関係機関などに広く発信していくことにあります。

●広報部会の主な活動計画 ①「埼玉県民児協だより」の発行

定期的に年4回、会員にお届けできる媒体として、民生委員・児童委員活動に必要な情報や、埼玉県民児協と各市町村民児協（単位民児協）の活動状況を発信していきます。

今年度は9月5日に埼玉県民生委員大会がコロナ前

の規模で開催されますので、その特集号を発行します。

② Webサイトの見直し
情報提供の高速化にインターネット活用は必要不可欠です。

昨年度はWebサイトのSSL化 (Secure Socket Layer) によりセキュリティ強化を図りましたが、今年度は今後の方向性（会員との双方向での情報交換など）を見極め、Webサイトを全体的に見直したいと思えます。

③ FM放送によるPR活動
民生委員・児童委員を広く県民に知っていただくため、昨年に続き民生委員・児童委員の日（5月12日）に「支え合いたい、地域とともに」を県内コミュニティ放送局11局から放送しました。

④ 活動ハンドブックの活用
昨年度に作成しました活動ハンドブックの有効活用を推進するため、活用例などを紹介していきます。



部会長 直井 千秋

笑顔をつなぐために

主任児童委員部会は、今期も引き続き、①認知度アップ②不登校③児童虐待④貧困・ヤングケアラーの4つの分科会を設置し、活動してまいります。

一斉改選により部会のメンバーも変わりましたが、分科会のテーマは同じですが、また新たな風が吹き、様々な気づきや発見があることと思えます。お子さんや保護者の方々の笑顔のために、それぞれの分科会の成果を持ち寄り、62市町村で情報を共有し、各委員がお互いに協力し合って笑顔で活動できるよう、部会全体で力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

相談役 磯部 恒子

本年4月よりこども家庭庁が発足されました。こどもがまんやかなの社会を実現することが使命とのことです。

どのように変わっていくのかわかりませんが子育ての環境も大きく変化していくものと思われれます。前期より新たに主任児童委員部会が62市町村の代表によって立ち上がりハンドブックが作成されました。一斉改選後、新たなメンバーとなりましたが前期に引き続き4分科会で活動していくことになりました。環境が変わっていくなかでそれぞれの地域によつての違いがあります。各委員さんの思いが届くように地域での活動の情報交換や研修を重ね全ての人が少しくでも安心して子育てができるように皆さんで協力していきたいと思えます。

令和5年度「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」活動報告

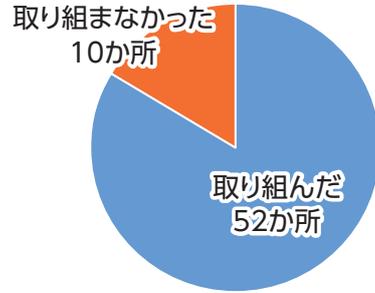
毎年5月12日は民生委員・児童委員の日です。また12日からの一週間を活動強化週間として、民生委員・児童委員の存在や活動を周知するための取り組みを強化する期間とされています。

全国的にPR活動を一齐に展開することでさらなる理解を得ることをめざします。理解を深めていただくことで日頃の委員活動を円滑に進めること等を目的としています。

ここでは、県内の取り組み状況調査について報告いたします。今後のPR活動の参考としていただければ幸いです。

1 市町村民児協の取り組み

(1) 活動強化週間にPR活動の取り組みを行いましたか。



《取り組みなかった理由》

- ・他の事業と重なり特別な取り組みはできなかった。
- ・別の時期に活動強化月間を設けている。
- ・通年でPR活動を行っている。

(2) 具体的なPR活動の内容

- ① ポスターや懸垂幕のぼり旗等の掲示(7)
 - ② 地域住民にPRカードやチラシ、ポケットティッシュ等の啓発資料を配布(21)
 - ③ 自治体広報誌に民生委員活動を掲載(35)
 - ④ 民児協独自の広報誌又はチラシを配布(10)
 - ⑤ 地元ケーブルテレビ局でPRビデオを放送(1)
 - ⑥ 公共の場で相談コーナーを設置(1)
 - ⑦ 特定の条件にある世帯への一斉訪問活動を実施(5)
 - ⑧ 地域実態調査活動を実施(4)
 - ⑨ 市町村内においてパレードの実施(3)
 - ⑩ 学校を対象としたあいさつ運動を実施(5)
- その他(5)：コミュニティラジオ放送、市役所内電子モニター表示、ホームページ掲載、区長との情報交換会等

◆PRグッズや活動内容を一部ご紹介いたします。



懸垂幕(毛呂山町)



(3) 協力のあった関係機関・団体

- ① 行政(24)
- ② 社会福祉協議会(6)
- ③ 町内会(4)
- ④ 地元の小学校(4)
- ⑤ ボランティア団体(1)
- ⑥ 地域活動支援センター(1)

(4) 課題

- ① 次世代を担う若年層を掘り起こすような啓発方法を考えることが大切
 - ② 就労している委員も多く、一齐に取り組むことが難しい
 - ③ 幅広い関係者との連携が必要
- 等

2 県民児協の取り組み

(1) 広報誌掲載

「彩の国だより（5月号）」にPR記事掲載

(2) ラジオ放送によるPR

- ① FM NACK5 「あさ★たま」
- ② 県内のコミュニティFMラジオ放送局11局からPR放送



彩の国だより5月号掲載記事



ラジオ収録の様子

3 全民児連の取り組み

民生委員・児童委員の活動理解促進のためのアニメーションPR動画及びPRポスターを作成し、JR駅を中心とした主要駅にPR動画の放映またはPRポスターの掲示をしました。

◆動画やポスターは全民児連ホームページに掲載中（動画はYouTubeでも公開中）

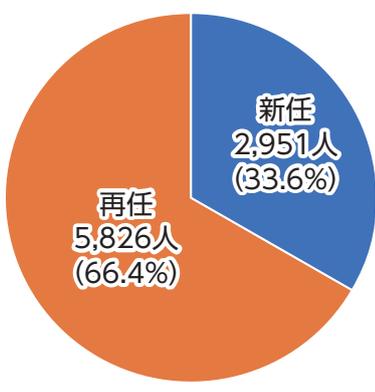


JR大宮駅

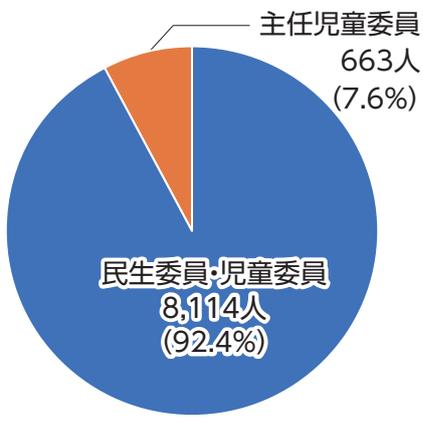
令和4年 一斉改選の状況報告

令和4年12月の一斉改選の委嘱状況をお伝えします。
定数：9,652人 委嘱数：8,777人（充足率：91%）

(1) 新任・再任別



(2) 民生委員・主任児童委員別

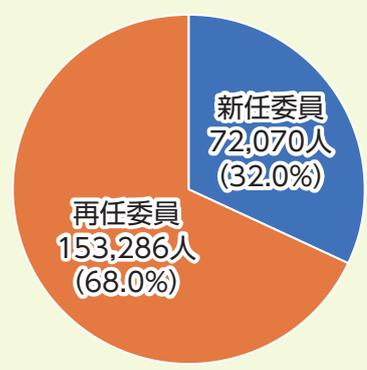


《参考：全国の一斉改選結果》

定数：240,547人
委嘱数：225,356人

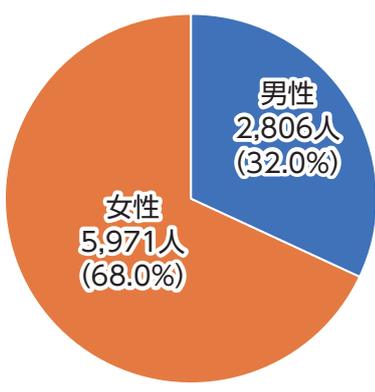
充足率 93.7%

新任・再任別の委嘱者数

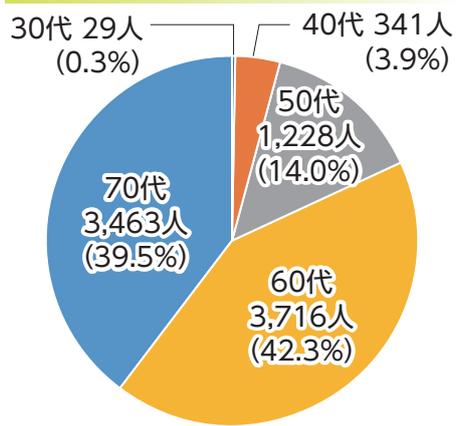


【厚生労働省プレスリリース（令和5年1月13日）より】

(3) 男女別



(4) 年齢別



【令和4年12月1日現在 埼玉県福祉部社会福祉課及び県内中核市より(さいたま市除く)】

コロナ後の

民生委員・児童委員活動のあり方

連休明けの5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類から5類に引き下げられました。ウィズコロナからアフターコロナへの移行期における民生委員・児童委員活動について、4市町村民児協会長から、ご寄稿をいただきました。

志木市

「子どもまつり」への参加実施

志木市民児協としては、コロナの弱まりに合わせ、「自宅にこもりがち」の気持からの脱却を図るべく、5月14日(日)に「子どもまつり」(会場：志木ニュータウン中央公園)への参画を実施しました。



当日は、主任児童委員(今期から1名増員の7名)各員所属団体の特徴を活かしつつ、会場の一角に民生委員・児童委員のPRコーナーを開設。同コーナーでは、折紙遊び(紙鉄砲)とワニワニパニック(モグラ叩き変形)により、子どもさんやご家族の皆さんに楽しく遊んでいただきながら、併せて一緒に遊ぶ我々民生委員・児童委員・主任児童委員のPRも理解してもら

らうよう努めました。結果、民生委員・児童委員活動強化週間のアピールもでき、且つ、一斉改選後の新人委員の地域への溶け込みにも役立った点、一石三鳥?の企画になったかと思っています。

当日は、微妙な天気にも拘わらず、香川市長にも参加していただき、子どもさん皆さんとも一緒に楽しんでもらいました。

(恩田 文秋)

蓮田市

安心して取り組める活動に向けて

密閉・密集・密接のいわゆる3密、マスク着用・手洗いの徹底など叫ばれてから3年あまりが経過しました。

3年前、私たち民生委員・児童委員の活動は3密を避けるため、地域の見守り活動は、対面訪問を休止、電話や手紙によるポストへの投函、交流の場であるサロンなど

各種事業も縮小や中止、定例会は書類の授受のみにとどめ、全ての活動に制限を余儀なくされました。令和5年に入り、電車内でのマスク着用も緩和、スポーツ観戦時の声出し応援が解禁となるなど徐々に平時に戻りつつあります。

市民児協としては、マスク着用での対面による訪問活動再開、定例会も通常の会議形式に、またバスを利用した視察研修も、受入先の了承のうえ復活しつつあります。

地区の協議会では、自治会やPTAなどと協力により10数年続けている地域の子ども夏祭りも出し物の見直し検討を行い再開の方向で準備会を発足しました。食中毒や感染症予防のため、祭りの定番である焼きそば、かき氷など現場で調理するメニューを見直し、駄

菓子屋、めんこ、竹とんぼなど昔遊びを取り入れたメニューを中心に検討を進めています。
一日も早く、従来の活動が安心して取り組めることを祈念します。

(木村 久)

皆野町

新しい生活様式への対応

皆野町民児協では、コロナ流行前は学校行事や町のお祭り、研修



秩父音頭まつり 流し踊りコンクール参加の様子

等行事への積極的な参加を行っていましたが、コロナ禍ではさまざまな活動が制限されできなくなり、委員同士の交流も少なくなりまして。

そのことによる影響は、民生委員・児童委員同士の関係の希薄化につながり、活動の中で疑問等、他の委員に聞く頻度が少なくなり、普段の委員活動の中でわだかまりをもって活動する委員も少なくなかったように思います。

この3年は、人とのつながりやコミュニケーションの重要性を改めて痛感した3年でした。

民生委員・児童委員の役割に、「つなぐ」といった役割があります。支援が必要な人を支援機関につなぐ、人と人との関係を取り持ちつなぐ等、ひとこと「つなぐ」と言ってもさまざまです。

そのためには、まずは委員同士がつながることが必要です。民生委員・児童委員としての知識や親睦を深めたり、町イベントへ民児協として積極的な参加が必要であると思われまます。

気軽に相談しあえる仲での関係性の構築、しいては充実した民生委員・児童委員の活動につなげて

いくといったことが必要ではないかと考えます。

一方で、直近の新型コロナ感染症の状況は、ピーク時に比べると大きく減少しているものの、下げ止まりの横ばい状況で、残念ながら亡くなる方もいます。

民生委員・児童委員は高齢者や障がい者等、重症化リスクのある方との接点が多く、感染者数が減少したとはいえまだまだ予断を許さない状況です。

以上のことから、これからの民生委員・児童委員のあり方は、これまで行ってきたさまざまな活動を行い、交流やつながりを保ちつつ、感染症対策等にも配慮しながらの活動、いわゆる新しい生活様式に対応した活動、その両方を率先して実行することが求められるのではないのでしょうか。

(宮前 浩之)

東秩父村

コロナ後の民生委員活動

東秩父村民児協では、コロナ禍にて民生委員・児童委員活動に制

約を受けつつも、さまざまな工夫をして取り組んできました。それでも、コロナ前に比べると委員同士のコミュニケーションは明らかに少なくなり、新任委員へのノウハウの継承が課題として残っております。

今回の政府方針を受けて、本民児協では「コロナ後の民生委員活動」として、委員同士の交流の機会を創出することをテーマに以前の取り組みを再開していく予定です。具体的には、年一回委員が輪番で幹事を務めて食事会やボーリング大会を催します。また、6月には一泊二日で県外研修旅行を企画しており、日頃あまり関わりのない委員同士の親睦が深まることに期待しています。

毎月の定例会では顔を合わせるものの、特に新任委員にとって会議の場で発言することはハードルが高いものです。日頃の活動について、悩みがあれば気軽に相談できるような委員同士の関係を築いていくことが、民生委員・児童委員活動の質の向上につながり、地域全体の福祉向上に資するものと考え、今年度の目標として取り組んでまいります。(鈴木 洋二)

令和4年度「事業報告及び決算」

5月に開催された第179回理事会及び第168回定時評議員会において、令和4年度の事業報告と決算が承認されました。

1 実施事業

《生活相談等活動推進事業》

1 福祉相談推進事業

- (1) 生活福祉資金貸付制度説明会の実施（県社協と共催）
- (2) 民生委員実費弁償費の交付
- (3) 民生委員・児童委員による交通事故防止・防犯等に係る声かけ運動への協力
- (4) 在宅福祉活動の推進
- (5) 視聴覚教材の提供（動画2件）
- (6) 県社協が実施する民生委員・児童委員研修への協力

2 リーダー研修事業

各民児協でリーダーとして役割を果たす民生委員・児童委員及び主任児童委員を次の研修へ派遣

- (1) 全国民生委員指導者研修会（集合型研修）
- (2) 民生委員・児童委員リーダー研修会（動画視聴による研修）

3 埼玉県民生委員・児童委員大会開催事業

- (1) 大会準備委員会の開催（2回）
- (2) 令和4年9月5日に、「令和4年度第48回埼玉県民生委員・児童委員大会」を埼玉県と共催で開催

・民生委員及び児童委員県知事功労章（220名）
 ・優良民生委員・児童委員協議会表彰（15地区）

・永年勤続単位民生委員・児童委員協議会会長表彰（16名）
 ・民生委員・児童委員協議会育成指導事業

1 地区別協議事業

- (1) ブロック別市町村民児協会長連絡会議（開催状況）
 - ◇東部 6月29日（春日部市）
 - ◇西部 7月8日（狭山市）
 - ◇南部 7月11日（川口市）
 - ◇北部 7月5日（行田市）
- （研修協議テーマ）
 「地区民児協の運営について」
 （企画）地区民児協支援部会

2 民児協育成事業

- (1) 指定民児協の活動援助
 民生委員・児童委員の活動拠点である単位民児協の運営の改善と組織活動の活性化を図るため、モデル民児協（第25期／2年目）の育成及び助成を行った。県民児協により2地区、全国互助共励事業として、全国社会福祉協議会の事業により2地区を指定
- ◇指定状況
 第25期指定民児協（令和3年度～4年度）

- 【東部】 杉戸町民児協
 - 【西部】 入間市藤沢第二地区民児協
 - 【南部】 川口市鳩ヶ谷第二地区民児協
 - 【北部】 熊谷市第6地区民児協
- ア 活動連絡会開催（1回）

《活動調査研究事業》

1 分野別活動調査研究事業

- (1) 研修部会
 テーマ毎にグループに分かれて事業を実施
 グループ1「リモートの基礎知識について」
 グループ2「親子を取り巻く諸問題の実態と解決策について」
 グループ3「大学教授への講師派遣について」
- ア 大学教授への講師派遣
 ・桜美林大学（6月2日／11月24日）
 ・埼玉県立大学（7月21日）
- イ 子育て支援に関する研修会（10月4日開催）
 テーマ①「子どもを生き、育てることが楽しい埼玉県へ」
 テーマ②「ヤングケアラー支援推進協議会における経過報告」
 テーマ③「認知症の人の希望を叶えるヘルプカード」

- (2) 地区民児協支援部会
 テーマ毎に企画会議を開催し、次の意見交換会を実施
 テーマ①「一斉改選について」（5月25日開催）
 テーマ②「地区民児協の運営について」※ブロック別に開催（東部・6月29日、西部・7月8日、南部・7月11日、北部・7月5日開催）

テーマ③「他機関との連携について」（8月31日開催）

テーマ④「会長のお悩み相談について」（9月21日開催）

(3) 広報部会

- ア「埼玉県民児協だより」年4回発行
 ・4月号、2月号（10,000部）
 ・7月号（15,500部）
 ・10月号（14,100部）
- ※7、10月号は一斉改選に関わる方への配布分を増刷
- イ「民生委員・児童委員 主任児童委員活動ハンドブック」発行（14,000部）
- ウ 民生委員・児童委員 主任児童委員活動ハンドブック活用方法についての説明会（10月28日開催）
- エ 民生委員・児童委員PR活動
 ・5月12日「民生委員・児童委員の日」に県内のコミュニティ放送局11局からPR放送
- ・県広報誌および県政広報ラジオにおいてPR

・市町村広報誌へのPR記事掲載依頼
 ・民生委員・児童委員研修資料「生活福祉資金貸付制度PRチラシ」発行
 さいたま市民児協と協働により作成（本会発行部数10,000部）

カ ホームページのセキュリティ強化

(4) 主任児童委員部会

課題ごとに4つの分科会に分かれて事業を実施

- 分科会1 「主任児童委員認知度アップ」
 - 分科会2 「不登校児童」
 - 分科会3 「児童虐待」
 - 分科会4 「貧困・ヤングケアラー」
- ア 「主任児童委員活動ハンドブック」 笑顔をつなごう」 発行（14,000部）
- イ 「主任児童委員活動ハンドブック」 笑顔をつなごう」 説明会（11月14日開催）
- ウ 県職員との意見交換会（11月9日開催）

2 活動調査事業

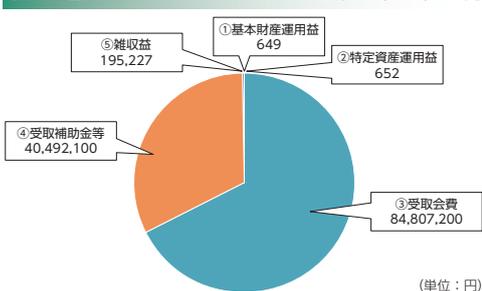
- (1) 「民生委員・児童委員の日」活動強化週間」取り組み状況調査（実施した市町村51か所）
- (2) 県外の情報を把握するため民生委員・児童委員及び職員等を派遣

- ア 全国民生委員児童委員大会
- イ 全国社会福祉大会
- ウ 東京都民生委員児童委員大会
- エ 都道府県・指定都市市民児協事務局会議
- (3) 一斉改選後、各法定単位民児協会長・副会長及び定数・現員数等の状況を把握する調査を行った。

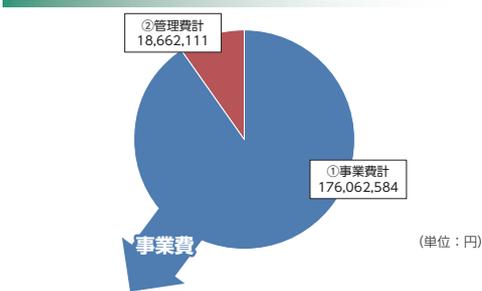
3 研究協議事業

- (1) 新たな課題、共通課題等を研究協議するため民生委員・児童委員等を派遣した。
- (1) 民生児童委員・保護司連絡会

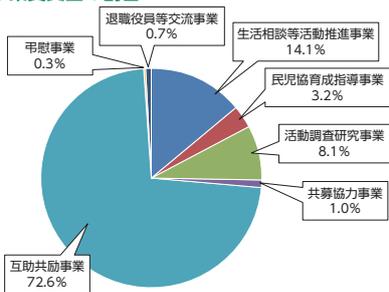
収入の部 合計125,495,828円



支出の部 合計194,724,695円



事業別の事業費支出の割合



2 共助事業

県外視察研修はコロナ禍の影響により中止

- ア 民生児童委員・保護司連絡会
 - イ 民生児童委員・保護司連絡会研修会
 - ウ 事務局打ち合わせ
 - (2) 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会
 - (3) 全国児童委員・主任児童委員活動研修会
- #### 《共同募金事業への協力事業》
- 1 民生委員・児童委員及び市町村民児協へ共同募金活動への協力依頼を行った。
 - 2 本会広報誌に共同募金事業について掲載し、普及・啓発を図った。
 - 3 共同募金事業に係る関係資料等を会議において配布した。

Ⅱ その他事業

《互助共助事業》

- 1 互助事業
- (1) 全国及び本県の互助事業を実施
- (2) 「個別管理基礎調査票」の整備を行った。

り中止

《甲恵事業》

物故民生委員・児童委員に対し、弔慰を行った（24件）

《退職役員等交流事業》

「彩の国すこやか会」については、事業が行われなかった。

Ⅲ 法人運営

- #### 1 会務の運営
- ・正副会長会議（9回）
 - ・理事会（7回）
 - ・評議員会（5回）
 - ・監事会（1回）
 - ・総務特別委員会（3回）
 - ・市町村民生委員・児童委員協議会会長会議（2回）
 - ・市町村事務担当者連絡会議（1回）
- #### 2 民児協会長手帳の斡旋、配布

〔令和4年度埼玉県民児協決算〕

皆様からお納めいただいた会費を財源とした会計です。部会活動や各種会議等、自主事業を実施しました。

令和4年度
全国民生委員指導者研修会
(第32回全国民生委員大学)
受講報告

令和5年2月1日～3日に、都道府県・指定都市民児協のリーダーに求められる役割について標記研修会が開催されました。

●内容

第1日

行政説明・事業説明・人権学習

第2日

講義・演習（グループ討議）

テーマ「市区町村民児協を支える都道府県・指定都市民児協の役割と単位民児協の運営強化について」

第3日

発表・総括・振り返り

●本県参加者（1名）

（報告書の一部抜粋）

毛呂山町民児協 森澤 美智子会長
民生委員・児童委員は、地域住民活動の推進役としての役割が重要です。委員活動についての研修や、地域住民、行政、関係機関・団体等との連携を密にすることによって情報共有ができる民生委員・児童委員活動の一助となる民児協運営について再確認ができました。

早速、定例会において研修で学んだグループワークを実施し、民児協運営に活かしたいと思っております。

埼玉県の国宝紹介 - 埼玉県内の国宝をシリーズで紹介いたします -

武蔵埼玉稲荷山古墳 出土品「金錯銘鉄剣」(きんさくめいてっけん)

埼玉県立さいたま史跡の博物館提供



稲荷山古墳は、5世紀後半に埼玉古墳群の中で最初に造られた古墳です。

1968(昭和43)年に稲荷山古墳の後円部を発掘したところ、頂上から2基の埋葬施設が発見され、そこから金錯銘鉄剣をはじめ、神獣鏡(しんじゅうきょう)、硬玉勾玉(こうぎよくまがたま)、金銅帯金具(こんどうおびかなぐ)、工具類、武器類等の副葬品が出土しました。これらの副葬品は、1983(昭和58)年に国宝に指定されました。

金錯銘鉄剣は、埋葬施設の一つである礫(れき)から出土しました。全長73.5cm、剣身に表面57文字、裏面58文字の計115文字の銘文が金象嵌(きんぞうがん)で刻まれています。

文化庁認定100年フードの「ゼリーフライ」!!

ご当地の名物を、行田市民生委員・児童委員連合会の長島敬二会長に紹介していただきます。



足袋の生産量で隆盛を極めた昭和初期、安くて手軽に食べられ、腹持ちが良いおやつとして流行し、地域の食文化として定着しました。

数種の野菜に、おからが入っているのが特徴で、ヘルシーでソースの味と香り、モチモチ食感が大人気です。名前の由来は、小判形であることから「銭」がなまって「ゼリーフライ」となったと言われています。

ます。

銘文の内容は、「わたしの先祖は代々、杖刀人首(じょうとうじん)のしゅ・武人の隊長)を務めてきた。わたしは獲加多支鹵大王(わかたけ)をおおきみ・雄略天皇に仕え、天下を治めるのを補佐した。そこで辛亥(しんがい)の年(471)7月に、これまでの輝かしい功績を剣に刻んで記念とする。」となります。この銘文は、日本古代史を解明する上で貴重な資料となっています。

「埼玉県民児協だよりNo.172」の記事に関するお詫びと訂正

令和5年2月1日発行の「埼玉県民児協だよりNo.172」4ページに掲載の「県民児協 役員紹介」において一部誤りがございました。ご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。訂正させていただきます。

「県民児協 役員紹介」南部ブロック理事
 ×誤
 桶川町 中村 文雄
 ○正
 桶川市 中村 文雄

編集後記

一斉改選も終わり、広報部会も新しい顔ぶれになりました。

一人でも多くの委員に読んで頂きたく、企画会議では活発な意見交換を行っております。

「民児協だより」で取り上げてほしいテーマやご要望を是非お寄せ下さい。お待ちしております。

(藤野 美佐子)

▼173号は県民児協広報部会Aチームで編集、校正しました。
 部会長 志子田健一
 副部会長 藤野美佐子
 副部会長 大島 幸雄
 部会長 恩田 文秋
 部会長 木村 浩之
 部会長 宮前 久
 部会長 鈴木 洋三

「民生委員・児童委員の声」原稿募集中

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
 彩の国すこやかプラザ
 一般財団法人
 埼玉県民生委員・児童委員協議会 広報係宛

今後の予定

6月		
9日	第26期指定民児協連絡会	すこやかプラザ
15日	正副会長会議	すこやかプラザ
23日	研修部会「地域版活動強化方策について研修」	すこやかプラザ
7月		
4日	正副会長会議	すこやかプラザ
11日	広報部会 (Bチーム)	すこやかプラザ
11日	地区民児協支援部会	すこやかプラザ
19日	第180回理事会	すこやかプラザ
19日	県大会準備委員会	すこやかプラザ
25日	第169回評議員会	すこやかプラザ
8月		
17日	正副会長会議	すこやかプラザ
25日	会長・副会長研修	すこやかプラザ

埼玉県民児協だより No.173号
 令和5年6月1日発行

〈発行人〉 寺田治子 (編集人) 志子田健一
 〈発行所〉 一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会
 彩の国すこやかプラザ内

〒33000075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
 TEL: 048(822)1197 FAX: 048(824)6586